施 工 状 況 報 告 書
【戸建住宅用】

ビューローベリタスジャパン株式会社　殿

建設住宅性能評価の申請を行うにあたり、施工状況報告書を提出します。
この施工状況報告書に記載する内容は、事実に相違ありません。

評価対象建築物の名称※	
評価対象建築物の所在地※	
工事施工者※	住所 氏名又は名称 電話 現場代理人

	検査対象工程	検査年月日	評価員の署名	施工(管理)者の署名
第１回目				
第２回目				
第３回目				
第４回目				

［記入要領］
1.※印の付されている欄は、建設住宅性能評価の申請の際に申請者が記入してください。
2.「検査対象工程」、「検査年月日」、「評価員の署名」欄は、検査を行った評価員が検査終了後に記入してください。
3.「性能表示事項」欄の（　等級）には、設計住宅性能評価時の等級を申請者が記入してください。
4.「変更内容」、「関連図書」、「管理の時期」、「確認内容」は、施工(管理)者が記入してください。
5.「検査方法」、「判定結果」は、検査を行った評価員が記入してください。

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.1

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認
※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄						
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	［一次］	［二次］
構造の安定に関すること	耐震等級 耐風等級 耐積雪等級 並びに 基礎方法 及び形式 耐震(倒壊) □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1 □ 評価対象外 耐震(損傷) □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1 □ 評価対象外 □ 否選択 耐震(その他) □ 免震 □ その他 耐風 □ 等級2 □ 等級1 □ 否選択 耐積雪 □ 等級2 □ 等級1 □ 区域外 □ 否選択	部材の品質	□無	□		□			○部材の品質	□		□	適・不適	適・不適
		土台・柱等	□無	□		□			□柱の小径	□	□		適・不適	適・不適
				□	□	□			○土台の継手位置	□		□		
				□	□	□			□アンカーボルトの品質	□		□		
				□	□	□			□アンカーボルトの埋込み長さ	□	□	□		
				□	□	□			□アンカーボルトの位置	□		□		
		耐力壁 (筋かいの場合)	□無	□		□			□筋かい耐力壁の位置、長さ	□	□		適・不適	適・不適
									□筋かいの種類・断面	□	□			
		(面材の場合)	□無	□		□	□		□面材の耐力壁の位置、長さ	□	□	□		
				□		□	□		□面材の種類、厚さ	□	□	□		
				□		□	□		□釘の種類と面材の止め付け状態	□	□	□		
		準耐力壁	□無	□		□	□		□準耐力壁の位置・長さ	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□	□		□垂れ壁、腰壁の位置、長さ	□	□	□		
				□		□	□		□垂れ壁、腰壁の巾と両隣の状況	□	□	□		
				□		□	□		□面材の種類、厚さ	□	□	□		
				□		□	□		□面材の高さ	□	□	□		
				□		□	□		□釘の種類と止め付け状態	□	□	□		
		床組等	□無	□		□			□火打ちの位置・種類	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□			□火打ちと取り合う梁	□	□	□		
				□		□			○火打ち材の止め付け状態	□	□			
			□無	□		□			□面材の種類、厚さ	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□			□根太の寸法、間隔	□	□	□		
				□		□			□根太の取付工法	□		□		
				□		□			□釘の種類と止め付け状態	□	□	□		
		屋根面	□無	□		□			□屋根勾配	□	□		適・不適	適・不適
				□		□			□面材の種類、厚さ	□	□	□		
				□		□			□垂木の寸法、間隔	□	□	□		
				□		□			□釘の種類と留付け状態	□	□	□		

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.2

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認
※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	一次	二次
構造の安定に関すること	耐震等級 耐風等級 耐積雪等級 並びに 基礎方法 及び形式 耐震(倒壊) □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1 □ 評価対象外 耐震(損傷) □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1 □ 評価対象外 □ 否選択 耐震(その他) □ 免震 □ その他 耐風 □ 等級2 □ 等級1 □ 否選択 耐積雪 □ 等級2 □ 等級1 □ 区域外 □ 否選択	接合部(1)	□無	□		□			□接合金物の品質	□		□	適・不適	適・不適
				□		□			□筋かい端部の の接合部	□		□		
				□		□			□柱脚、柱頭 の接合部	□		□		
				□		□			□床、屋根の接合部	□		□		
				□		□			□胴差しと通柱 の接合部	□		□		
		基礎　1 (寸法・配筋)	□無	□	□				□基礎の配置	□	□		適・不適	適・不適
				□	□				□根入れ深さ	□	□	□		
				□	□	□			□立上り部分の高さ	□	□			
				□	□	□			□立上り部分の厚さ	□	□	□		
				□	□	□			□基礎底盤の寸法	□	□	□		
				□	□				□主筋の径、位置	□	□	□		
				□	□				□補強筋の径、 位置等	□	□	□		
				□	□				○開口周辺等の 補強	□	□	□		
		横架材	□無	□		□			□床大梁の 断面、間隔	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□			□床小梁の 断面、間隔	□	□	□		
				□		□			□小屋梁の 断面、間隔	□	□	□		
				□		□			□胴差の 断面、間隔	□	□	□		
				□		□			□根太の 断面、間隔	□	□	□		
				□		□			□垂木の 断面、間隔	□	□	□		
		免震建築物	□無	□	□	□		□	□免震層	□		□	適・不適	適・不適
					□	□		□	□免震材料	□		□		
						□		□	□上部構造	□		□		
					□	□		□	□下部構造	□		□		
						□		□	□落下・挟まれ防止 等	□		□		
								□	□表示	□				
								□	□管理に関する計画			□		
	地盤又は杭の許容支持力等及びその設定方法	地盤	□無	□	□				□地盤の種類、 支持力	□		□	適・不適	適・不適
		地業	□無	□	□				□地業の状態	□		□	適・不適	適・不適
	基礎の構造方法及び形式等	基礎　2 (形式)	□無		□				□基礎の構造方法	□			適・不適	適・不適
					□				□基礎の形式	□				

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.3

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄						
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	一次	二次
火災時の安全に関すること	感知警報装置設置 □ 等級4 □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	感知警報装置	□無	□				□	□感知部分の設置場所	□			適・不適	適・不適
				□				□	□感知部分の種別	□		□		
				□				□	□感知部分の取付位置	□	□	□		
				□				□	□感知部分の感度等			□		
				□				□	□警報部分の設置場所	□				
				□				□	□警報部分の性能			□		
	□選択 □否選択	寝室	□無	□				□	□寝室の位置	□		□	適・不適	適・不適
	脱出対策(3階以上) □ 該当なし □選択 □否選択	バルコニー及び避難器具	□無	□				□	□避難器具の設置	□		□	適・不適	適・不適
				□				□	□直通階段に直接通ずるﾊﾞﾙｺﾆｰの有無	□				
	耐火等級〔開口部〕 （等級4） □選択 □否選択	開口部	□無	□				□	□対象となる範囲	□			適・不適	適・不適
				□				□	□開口部の耐火性能	□		□		
	耐火等級〔開口部以外〕 （等級4） □選択 □否選択	外壁、軒裏	□無	□				□	□対象となる範囲	□			適・不適	適・不適
				□				□	□外壁の構造	□		□		
				□				□	□軒裏の構造	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.4

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	一次	二次
劣化の軽減に関すること	劣化対策 □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	外壁の軸組・枠組等	□無	□		□			□通気構造等の状態	□		□	適・不適	適・不適
				□		□			□保存処理の方法	□	□	□		
				□		□			○保存処理の状態	□		□		
				□					□部材の小径					
				□					□部材の樹種					
		土台の防腐防蟻	□無	□		□			□部材の樹種	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□			□薬剤処理の材料、状態	□		□		
				□		□			□土台と外壁の取合部(水切り等)	□				
		基礎高さ	□無	□		□			□地盤面から基礎上端までの高さ	□	□		適・不適	適・不適
		床下換気防湿措置	□無	□		□			□換気口(基礎開口)の位置	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□			□換気口(基礎開口)の大きさ	□	□	□		
				□		□			□ねこ土台の寸法・形状	□	□	□		
				□		□			□ねこ土台の位置	□	□	□		
			□無	□		□			□コンクリートの打設範囲	□		□	適・不適	適・不適
				□		□			□コンクリートの厚さ	□		□		
				□		□			□防湿フィルムの種類、厚さ	□		□		
				□		□			□防湿フィルムの設置状態	□		□		
		地盤の防蟻	□無	□	□				□コンクリートの打設範囲	□		□	適・不適	適・不適
				□					□土壌処理の材料	□		□		
				□					□土壌処理の状態	□		□		
		小屋裏換気	□無	□			□		□給気口、排気口の位置、大きさ	□		□	適・不適	適・不適
		浴室・脱衣室の防水	□無	□			□		□浴室の防水措置	□		□	適・不適	適・不適
				□			□	□	□脱衣室の防水措置	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.5

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	一次	二次
維持管理への配慮に関すること	維持管理対策等級(専用配管) □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	専用配管	□無	□		□			□コンクリート内埋込み配管	□		□	適・不適	適・不適
		地中埋設管	□無	□		□			□屋内部の地中埋設部	□		□	適・不適	適・不適
				□		□			□外周部の地中埋設部	□		□		
		配管の設置方法	□無	□		□	□	□	□配管の仕様等、設置状態	□			適・不適	適・不適
		専用排水管の清掃措置	□無	□		□		□	□排水管の掃除口(便所:腰掛式の場合は取り外しによる)	□			適・不適	適・不適
				□				□	□トラップの清掃措置(給排水設備品)	□				
		配管点検口	□無	□				□	□開口の位置	□			適・不適	適・不適
				□				□	□開口と配管の関係	□				
温熱環境・エネルギー消費量に関すること	断熱等性能等級 □ 等級7 □ 等級6 □ 等級5 □ 等級4 □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	躯体の断熱性能	□無	□		□	□		□断熱材の種類－1(床、土間床等の外周部)	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□	□		□断熱材の保管、養生	□		□		
				□		□	□		□床の断熱構造	□		□		
				□		□	□		□土間床等の外周部の断熱構造	□		□		
				□			□		□断熱材の種類－2(屋根又は天井、壁)	□	□	□		
				□			□		□屋根又は天井の断熱構造	□		□		
				□			□		□壁の断熱構造	□		□		
		躯体の気密性	□無	□			□		□(防湿)気密層の種類	□		□	適・不適	適・不適
				□			□		□(防湿)気密層の位置	□		□		
				□			□		□(防湿)気密層の施工状態	□	□	□		
				□			□		□基礎断熱工法の気密の措置	□		□		
		開口部の断熱性能等	□無	□			□		□窓等の仕様・気密性	□		□	適・不適	適・不適
				□			□		□ドアの仕様・気密性	□		□		
		開口部の日射遮蔽性能	□無	□			□		□庇・軒等の状態	□	□	□	適・不適	適・不適
				□			□		□付属部材の設置状態	□		□		
				□			□		□窓・ドアの仕様	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認
※の欄を施工(管理)者が記入のこと

温熱環境・エネルギー消費量に関すること	一次エネルギー消費量等級 □ 等級6 □ 等級5 □ 等級4 □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	躯体の断熱性能	□無	□		□	□		□断熱材の種類	□	□	□	適・不適	適・不適
				□		□	□		□断熱材の保管・養生	□		□		
				□		□	□		□屋根又は天井の断熱構造	□	□	□		
				□		□	□		□壁の断熱構造	□	□	□		
				□		□	□		□床の断熱構造	□	□	□		
				□		□	□		□土間床の外周部の断熱構造	□	□	□		
				□			□		□窓等の仕様	□	□	□		
				□			□		□ドアの仕様	□	□	□		
		開口部の断熱性能等	□無	□			□	□	□開口部の大きさ	□	□	□	適・不適	適・不適
				□			□	□	□付属部材の設置状態	□		□		
				□			□	□	□適用除外の窓の面積	□	□	□		
		開口部の日射遮蔽措置	□無	□			□	□	□庇、軒等の状態	□	□	□	適・不適	適・不適
				□			□	□	□付属部材の設置状態	□		□		
				□			□	□	□窓・ドアの仕様	□	□	□		
				□			□	□	□適用除外の窓の面積	□	□	□		
		設備機器等	□無	□			□	□	□暖冷房設備の仕様	□		□	適・不適	適・不適
				□				□	□換気設備の仕様	□		□		
				□			□	□	□給湯設備の仕様	□		□		
				□			□	□	□照明設備の仕様	□		□		
				□			□	□	□省エネ設備の仕様	□		□		
		基本情報 ・主たる居室 ・その他の居室 ・非居室	□無	□			□	□	□室の名称	□		□	適・不適	適・不適
				□			□	□	□床面積	□	□	□		
				□			□	□	□間取り	□		□		

施 工 状 況 報 告 書【戸建住宅】

No.7

検査方法 － A:実物の目視 B:実物の計測 C:施工関連図書の確認

※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	一次	二次
空気環境に関すること	ホルムアルデヒト対策(居室) □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1 □ 該当なし	居室の内装の仕上げ材	□無	□				□	□製材等の有無	□		□	適・不適	適・不適
				□				□	□特定建材の有無	□		□		
				□				□	□その他の建材の有無	□		□		
			□無	□ □				□ □	(建材名:) □建材の性能区分 □建材の使用範囲	□ □ □		□ □ □	適・不適	適・不適
	(天井裏等) □ 等級3 □ 等級2 □ 該当なし	天井裏等の下地材等	□無	□				□	□製材等の有無	□		□	適・不適	適・不適
				□				□	□特定建材の有無	□		□		
				□				□	□その他の建材の有無	□		□		
	□選択 □否選択		□無	□ □				□ □	(建材名:) □建材の性能区分 □建材の使用範囲	□ □ □		□ □ □	適・不適	適・不適
	換気対策 □ 機械換気 □ その他	居室の換気対策(機械換気の場合)	□無	□				□	□機械換気設備の仕様・位置	□		□	適・不適	適・不適
				□				□	□主ダクト長さ、位置、曲がり、分岐	□		□		
				□				□	□枝ダクト長さ、位置、曲がり、分岐	□		□		
								□	□端末換気口の仕様・位置	□ □		□ □		
		居室の換気対策	□無	□				□	□給排気口の位置等	□		□	適・不適	適・不適
				□				□	□居室等出入口の通気措置	□		□		
	□選択 □否選択	局所換気対策	□無					□	□便所の換気措置	□			適・不適	適・不適
								□	□浴室の換気措置	□				
								□	□台所の換気措置	□				
光・視環境に関すること	単純開口率 % 方位別開口比 北: % 東: % 南: % 西: % 上: % □選択 □否選択	単純開口率及び方位別開口比	□無				□		□開口部の形状、形式	□			適・不適	適・不適
							□		□開口部の寸法(高さ、巾、角度)	□	□			
音環境に関すること	透過損失等級 北: 等級1 東: 等級2 南: 等級3 西: 該当なし □選択 □否選択	開口部の遮音性能	□無	□			□		□開口部の遮音性能	□		□	適・不適	適・不適
				□			□		□開口部の設置状況	□		□		

施 工 状 況 報 告 書

No.8

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目	施工状況報告欄※						施工状況確認欄					
			変更等の内容	関連図書	管理の時期				確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
					1	2	3	4		A	B	C	一次	二次
高齢者等への配慮に関すること	高齢者等配慮対策等級 □ 等級5 □ 等級4 □ 等級3 □ 等級2 □ 等級1	部屋の配置	□無	□				□	□日常生活空間の配置	□			適・不	適・不
								□	□ホームエレベーターの設置	□				
		段差	□無	□				□	□玄関出入口の段差	□	□		適・不	適・不
								□	□玄関上り框の段差	□	□			
								□	□浴室出入口の段差	□	□			
								□	□バルコニー出入口の段差	□	□			
								□	□その他の部分の段差	□	□			
								□	□日常生活空間外の床の構造	□	□			
		階段	□無	□				□	□蹴上げ・踏面寸法	□	□		適・不適	適・不適
								□	□踏込み寸法	□	□			
								□	□まわり階段部分の構成	□	□			
								□	□平面形状	□				
								□	□すべり止め	□				
		手すり	□無	□				□	□階段の手すり	□	□		適・不適	適・不適
								□	□便所の手すり	□	□			
								□	□浴室の手すり	□	□			
							□	□	□玄関の手すり	□	□	□		
							□	□	□脱衣室の手すり	□	□	□		
		手すり(転落防止のための手すり)	□無	□				□	□バルコニーの手すり	□	□		適・不適	適・不適
								□	□2階以上の窓の手すり	□	□			
								□	□廊下及び階段の手すり	□	□			
							□	□	□手すり固定状態	□	□	□		
								□	□手すり子の間隔	□	□			
		通路・出入口の幅員	□無	□				□	□通路の幅員	□	□		適・不適	適・不適
								□	□玄関出入口の幅員	□	□			
								□	□浴室出入口の幅員	□	□			
								□	□その他の出入口の幅員	□	□			
		寝室・便所・浴室の広さ	□無	□				□	□浴室の広さ	□	□		適・不適	適・不適
								□	□便所の広さ	□	□			
								□	□便器種類(腰掛)	□	□			
	□選択 □否選択							□	□特定寝室の広さ	□	□			

施 工 状 況 報 告 書

No.9

検査方法 － A:実物の目視　B:実物の計測　C:施工関連図書の確認

※の欄を施工(管理)者が記入のこと

	性能表示事項(等級)	検査項目		施工状況報告欄※							施工状況確認欄						
				変更等の内容	関連図書	管理の時期					確認内容※	検査方法			判定結果及び指摘事項の記録	
						1	2	3	4			A	B	C	一次	二次
防犯に関すること	開口部侵入防止対策 **階**	住戸の出入口(区分a) **□対策あり** **□雨戸等含** **□その他** **□該当なし**		□無	□				□		□戸・ガラスの性能・施工状態	□		□	適・不適	適・不適
					□				□		□錠の数・性能・仕様・設置状態	□		□		
					□				□		□雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		外部からの接近が比較的容易な開口部(区分b) **□対策あり** **□雨戸等含** **□その他** **□該当なし**	開閉機構あり	□無	□				□		□サッシの性能・施工状態	□		□	適・不適	適・不適
					□				□		□ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□戸・ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□錠の数・性能・仕様・設置状態	□		□		
					□				□		□雨戸等の性能・施工状態	□		□		
			開閉機構なし	□無	□				□		□ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		その他の開口部(a及びbに掲げるもの以外のもの)(区分c) **□対策あり** **□雨戸等含** **□その他** **□該当なし**	開閉機構あり	□無	□				□		□開口部の位置	□	□	□	適・不適	適・不適
					□				□		□サッシの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□戸・ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□錠の数・性能・仕様・設置状態	□		□		
					□				□		□雨戸等の性能・施工状態	□		□		
			開閉機構なし	□無	□				□		□開口部の位置	□	□	□		
					□				□		□ガラスの性能・施工状態	□		□		
					□				□		□雨戸等の性能・施工状態	□		□		
		評価対象外の開口部		□無	□				□		□開口部の大きさ	□	□	□	適・不適	適・不適
	□選択 **□否選択**															

注）1つの階ごとに1つの欄を使用し、2以上の階がある場合には、階の数だけ各欄を連結して使用する。